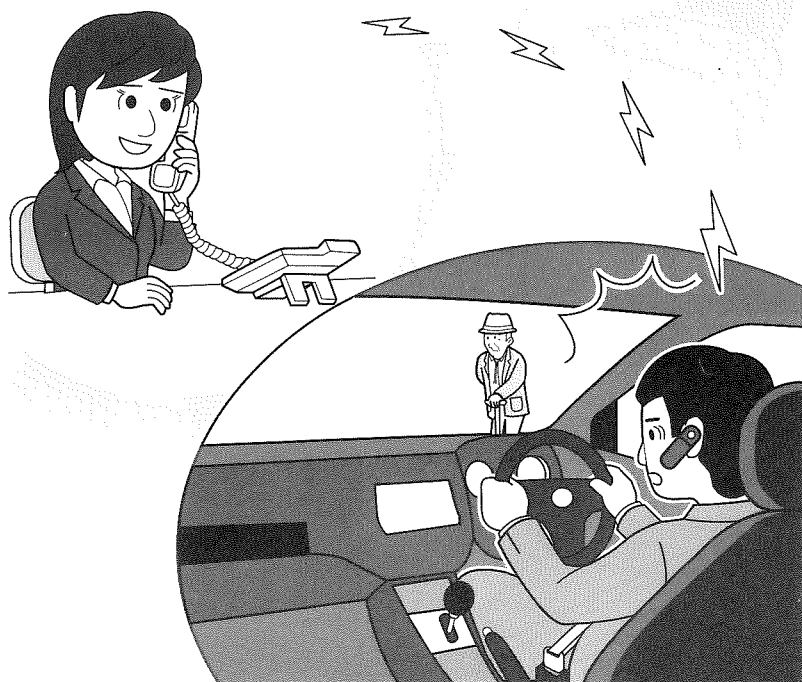


# 見直そう「ながら運転」

## 運転中の判断ミス・判断遅れを防止しよう



4月は、新規採用や部署異動でまだ慣れない業務ということもあり、車で移動中に「携帯電話で業務確認したい」という時もあるかと思えます。令和元年の改正道路交通法の施行から、運転中のスマホ・携帯電話等の利用は処罰の対象になりました。ハンズフリー機能で会話をしながらの運転も多くの自治体が禁止しています。

運転中にハンズフリーでの会話も禁止する主な理由は、イヤホンで耳が塞がって周りの音を聞く妨げになること、また電話での会話によって「運転への注意力が落ちる」ためです。

### ▼「運転への注意力が落ちる」とは

理由は人間は二つのことを同時に判断できないため、判断ミスや遅れが生じます。

それは、電話で会話をしながらの運転中に右折する交差点にさしかかった時に、事務所から「〇時に△△社に寄れますか？」と聞かれて「可能か否か」考えながら、右に横断歩道を渡りそうな人を見て「自車が先に横断歩道を横切れるか、待つべきか」を「同時に判断できない」ということです。一方を後に判断することになり、判断が遅れたり間違ったりします。

同乗者には運転状況がわかるので返事を待たせることができますが、電話は通話相手に運転状況がわからず、また運転者は「早く返事をしなければ」と焦りも生じます。

会話は車を安全な場所に停めて行うことや運転者への連絡は「メールや着信だけ入れて折り返しの電話を待つ」など運用を整理しましょう。